

## 町めぐり探訪記（古刹歳時記）

私の住む近くに西国二十二番札所高野山真言宗 総持寺があります。  
阪急京都線総持寺駅と JR 京都線 JR 総持寺駅のちょうど中間に位置する古刹で先手観音をご本尊にして、総持という寺名は皆様の願いを総て持ち備えた仏様のお寺という意味だそうです。総持寺では観音様の他、薬師如来、地藏菩薩、不動明王、弘法大師、稲荷大明神、如来荒神な多くの仏様や神様をお祀りされています。いろいろな年中行事もあり近場の利点から撮りためた写真で季節ごとの総持寺を古刹歳時記として紹介いたします。写真ばかりの紹介でまた観光案内的な写真はありませので悪しからずご容赦願います。何某かのご興味やご参考になれば幸いです、機会があればぜひお立ち寄り、お参り下さい。  
また少なくなりましたが総持寺周辺の旧家の街並みや富田の酒蔵周辺の古い街並みも楽しめます。  
もし総持寺について詳しくお知りになりたい場合は [総持寺 \(sojiji.or.jp\)](http://sojiji.or.jp) にて検索下さい。

（記 榎本 隆夫）

## 総持寺の概略位置



## 正月風景

初詣には多くの方がお見えになり、にぎやかになります。



正月三日には朱塗りの包丁殿が開かれ、琴の演奏が行われます。





節分には火渡りが行われ僧侶の後は一般参拝者も渡ります。





寺院内には梅の木も多くあり春が始まります。



大きな枝垂れ桜も春を楽しませてくれます。





毎年4月18日には包丁殿にて山陰流包丁式が行われます。これは山陰流の選ばれた料理人が一連の儀式を行い、クライマックスには手を一切使わず包丁と串だけで鯛の皮一枚を残して見事に立て飾ります。



季節を問わずお遍路で多くの方が参られます。





鉢植えの蓮や百日紅が咲き季節が夏へと変わります。

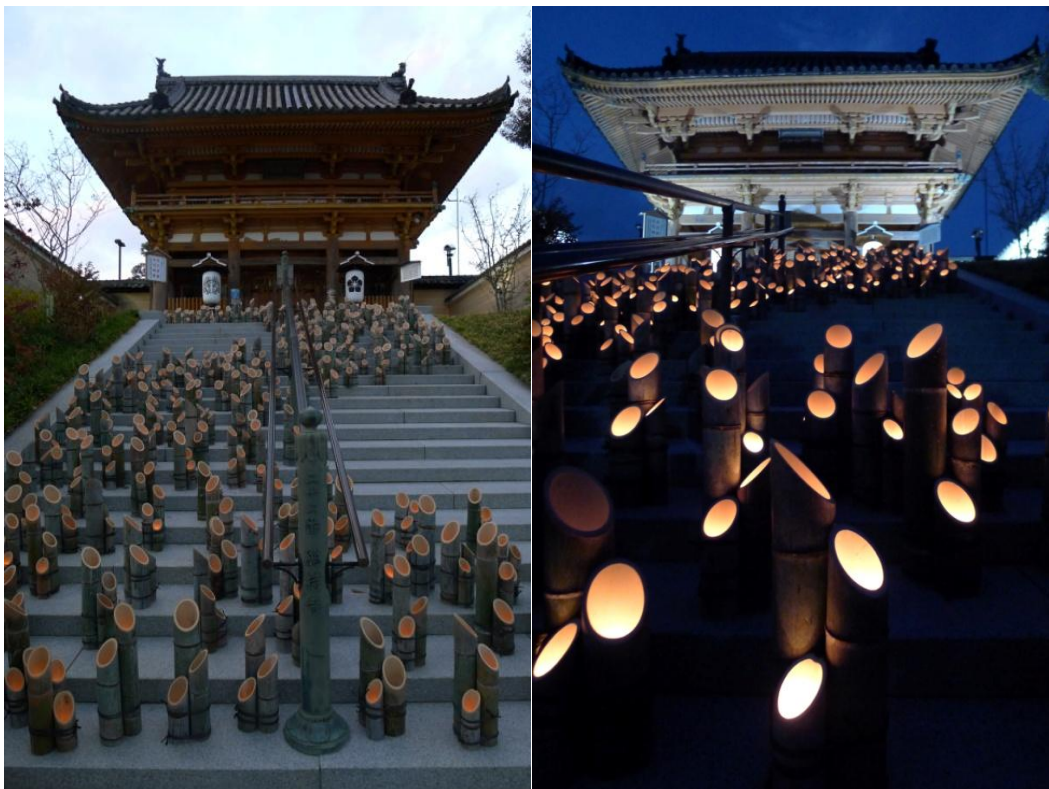


秋のひと時 寺院内の仏様の影も長くなり、落ち葉も積ります。





毎年ではありませんが大晦日には竹灯籠が飾付され一年を締めくくります。



最後に歳時記とは外れますが、山門仁王と水子不動の光と影を紹介します。

